

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年10月27日（火）

2 確認箇所

- ・ 1～4号機タービン建屋東側
- ・ メガフロート（1～4号機取水路開渠内）

3 確認項目

- (1) 千島海溝津波対策防潮堤周辺の工事の状況
- (2) メガフロート有効活用に向けた護岸工事等の状況

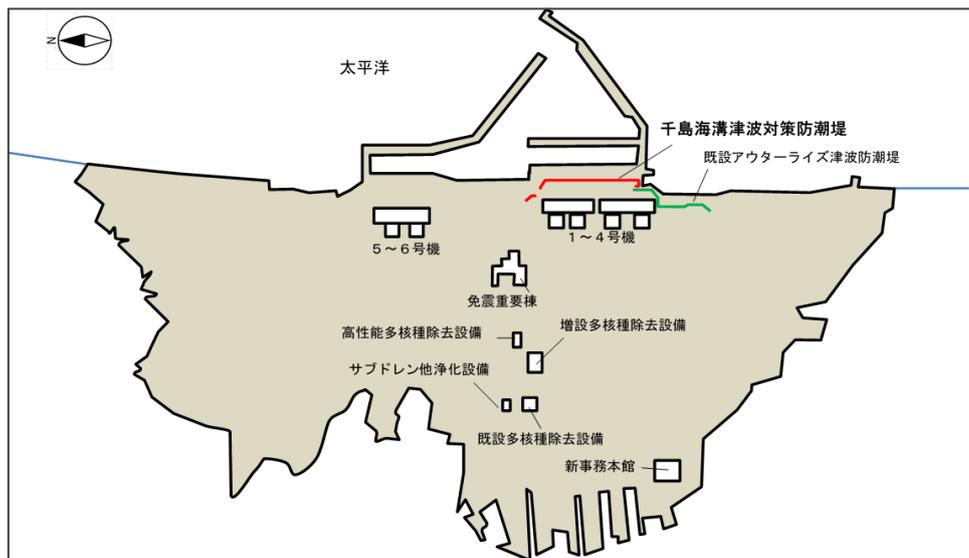
4 確認結果の概要

- (1) 千島海溝津波対策防潮堤周辺の工事の状況について

前回（令和2年10月2日）、将来発生が予測され切迫性が高いとされている千島海溝地震に伴う津波対策として設置工事が進められていた防潮堤の設置工事が完了したことを確認した。

防潮堤周辺では、防潮堤設置工事と並行して地盤整備工事等が実施されていたため、本日は当該工事の状況を確認した。（図1）

- ・ 1、2号機タービン建屋東側では全体的にアスファルトの転圧作業が前回よりも進捗しており、現場確認時にも作業が実施されていた。（写真1）
- ・ 3号機タービン建屋東側では、L型擁壁と側溝の間のコンクリート打設作業が実施されていた。（写真2）
- ・ 4号機タービン建屋東側では、側溝の据え付け工事が前回よりも進捗していた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
1、2号機タービン建屋東側の状況
前回（令和2年10月2日）撮影



(写真1-2)
同左
今回（令和2年10月27日）撮影



(写真1-3)
転圧作業の状況



(写真2-1)
3号機タービン建屋東側の状況



(写真2-2)
写真2-1 赤丸部分拡大
L型擁壁と側溝の間にコンクリート
が打設されている



(写真3-1)
4号機タービン建屋東側の状況
前回(令和2年10月2日)撮影

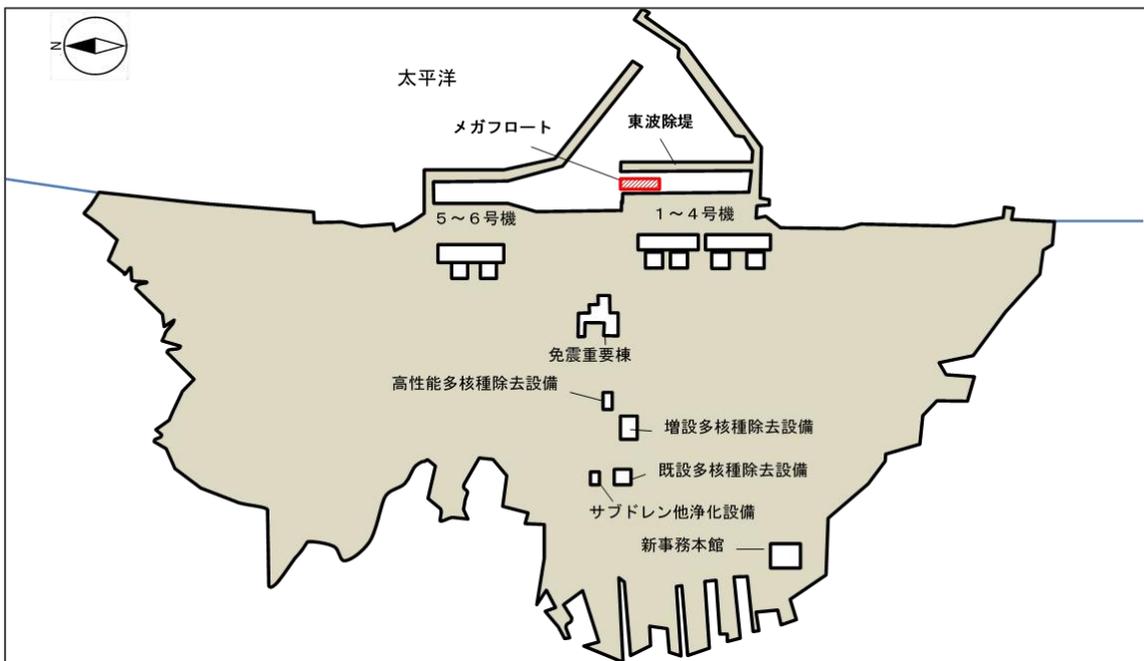


(写真3-2)
同左
今回(令和2年10月27日)撮影

(2) メガフロート有効活用に向けた護岸工事等の状況について

前回(令和2年10月5日)に引き続き、メガフロートを護岸及び物揚場として有効活用していくための護岸工事等の状況を確認した。(図2)

- ・ 前はメガフロート北西側の一部で砕石による埋め戻し作業が未実施であったが、今回現場確認したところ作業が進捗していた。(写真4)
- ・ また、メガフロート北西部には「端部開口部」である注意喚起の掲示がされていた。(写真5)



(図2) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真4-1)
メガフロート北西側の状況
前回（令和2年10月5日）撮影
北西側から撮影



(写真4-2)
同左
今回（令和2年10月27日）撮影



(写真5-1)
「端部開口部」の注意書き掲示状況



(写真5-2)
注意書き拡大

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。